

愛着がもてる文房具を求め続けています

！富山祥瑞さん／愛知教育大学 教育学部 教授



富山さんが約30年続けている文房具の通信。

ポストカードはこんなふう自作している



ポストカードの原寸サイズに手書きで原稿を作る。



できあがったら4枚コピーを作り貼り付ける。これを色画用紙にコピーしてカッターで1枚ずつカットしていく。

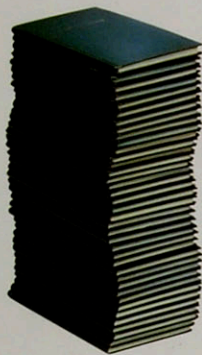


とみやましようすい

愛知教育大学（愛知県刈谷市）教育学部教授。1968年宮崎県生まれ。デザインは社会の問題を解決する方法という考えのもと未来の先生たちに向けてクリエイティブな授業の進め方などを指導している。

富山さんが愛着を持ち使い続けている文房具

「愛着を感じることができるか。これが富山さんにとってのいい文房具の基準だ。最も多用するペンは鉛筆。国内外の様々なブランドや硬度を試した結果、現在は「ハイユニの2B」に落ち着いている。メモ帳は測量野帳を長年活用。最近はおしゃれなロディアのウェブノートブックも使っている。



コクヨ 測量野帳
いつでもどこでも思いついたことをメモできるように準備している。測量野帳は薄型でカバーが強く書きやすい。



カッター
「NTカッター PRO H-1P」

鉛筆ホルダー
「五十音 ミミック」

画紙
「無印良品 針が細い画紙」

油性ボールペン
「ゼブラ Surari 0.7mm」

鉛筆
「三菱鉛筆 ハイユニ2B」

鉛筆削り
「プラス W-P鉛筆削り」

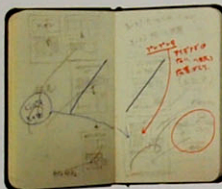
万年筆
「ロットリング Art Pen(中字)」

万年筆用インク
「モンブラン ロイヤルブルー」

鉛筆は試行錯誤した結果、ハイユニの2Bに落ち着いた。携帯には、鉛筆ホルダー（ユニペンシルホルダー）を活用している。



ロディア ウェブノートブック
最近使いはじめたメモ用のノート。表紙のモコモコ感も気に入っている。



文字だけでなく、ラフスケッチなども多いのでドット罫を活用している。

「ガリ板」が文房具愛の原点

謄写版（ガリ版）は、昭和時代に盛んに使われていた最盛期の孔版印刷機。富山さんは先輩の教授から譲り受けたガリ版のセット一式を大切に保管している。

ガリ版の道具一式が教室で大切に保管されている。昔の学校で使われていた印刷機として、授業の中で紹介しているそうだ。

